

# Rotorflight 2.2.1

## マニュアル

Adjustments編

リアルタイム調整機能画面

ADJUST

著作権: ぱすとそに

運営: ぱすとそに工房

<https://postsoni.github.io/>

## 著作権・利用規約

本マニュアルの著作権は ぼすとそに に帰属します。

運営: ぼすとそに工房 (<https://postsoni.github.io/>)

### 【許可される利用】

- ・個人での閲覧・学習目的での使用
- ・YouTube等の動画での紹介・解説（収益化含む）  
※動画利用の際は事前にお問い合わせよりご連絡ください

### 【禁止される利用】

- ・無断転載（SNS・ブログ等への全文コピー）
- ・商用目的での再配布・販売
- ・著作者名を削除しての二次配布

お問い合わせ: <https://postsoni.github.io/> (お問い合わせページ)

# Adjustments画面の概要

Adjustments画面は、飛行中に送信機のスイッチやボリュームを使って、FCの設定値をリアルタイムで変更できる機能です。着陸せずに調整できるので、チューニング作業が効率的になります。

## 全42スロット利用可能

同時に複数のパラメータを調整可能です。必要な分だけ設定し、残りはOffでOKです。

## 1. Modeの種類

モード	説明	用途
Off	このスロットを使用しない	未使用
Mapped	チャンネル値を連続的にパラメータにマッピング・ボリューム・連続調整	
Stepped	チャンネル値を段階的にパラメータに変換	スイッチ・段階切替

## Mapped vs Stepped の違い

### 【Mapped（マッピング）】

- ・チャンネル値が滑らかにパラメータに変換される
- ・ボリュームやスライダーでの連続調整に最適
- ・例：ボリュームを回すとPIDゲインが滑らかに変化
- ・例：3ポジションスイッチでProfile 1/2/3を直接選択

### 【Stepped（ステップ）】

- ・チャンネル値が段階的にパラメータに変換される
- ・スイッチでの切り替えに使用するが、Mappedの方が推奨
- ・例：3ポジションスイッチでProfile切り替え（但し位置を戻すと値が戻る問題あり）
- ・重要：Profile切り替えには通常Mappedを使用する

## 2. Enable Channel と Value Channel

チャンネル	役割
Enable Channel	この範囲内にあるときだけ調整が有効
Value Channel	実際の値を決めるチャンネル

【同じチャンネルの場合】

1つのスイッチ/ボリュームで有効化と値設定を兼用します。

【異なるチャンネルの場合】

スイッチAで有効化、ボリュームBで値調整します。より細かい制御が可能です。

## 3. 調整可能なパラメータ（主要なもの）

カテゴリ	パラメータ例
Profile	Profile Selection, Rate Profile Selection
PID	Pitch P, Roll P, Yaw P, Pitch I, Roll I, Yaw I, etc.
Rates	RC Rate, RC Expo, Max Rate
Rescue	Rescue Collective, Rescue Climb
Governor	Governor Gain, Governor Headspeed

## 4. 設定例

### 例1：3ポジションスイッチでプロファイル切り替え（推奨）

項目	設定
Mode	Mapped (推奨)
Enable Channel	AUX 2
Enable Range	875～2125
Value Channel	AUX 2
Value Range	875～2125
調整対象	Profile Selection
出力範囲	1～3

【動作】 AUX 2の位置に応じてProfile 1/2/3が直接選択されます。

### 例2：ボリュームでPitch Pゲインを調整

項目	設定
Mode	Mapped
Enable Channel	AUX 5 (常にON範囲)
Value Channel	AUX 6 (ボリューム)
調整対象	Pitch P Gain
出力範囲	30～120

## 5. よくある設定

設定内容	Mode	用途
ProfileをSEスイッチで切り替え	Mapped	ライトモード連動
Rate ProfileをSEスイッチで連動	Mapped	Profileと同時切替
PIDゲインをダイヤルで微調整	Mapped	飛行中の微調整

重要：ProfileとRate Profileを同じスイッチ（AUX）に連動させると便利です。

## まとめ

Adjustments画面は「飛行中のリアルタイム調整」を可能にする画面です。

### 【重要ポイント】

- 全42スロット利用可能
- Mapped（連続）とStepped（段階）の2つのモード
- Profile切り替えにはMappedモードを推奨
- Enable ChannelとValue Channelを理解する
- 同じAUXで複数のパラメータを連動可能

### 【モードの使い分け】

- Mapped: Profile切り替え、ボリューム調整に最適
- Stepped: 段階的切り替えだが、Profileには非推奨

### 【活用例】

- SEスイッチ（AUX 2）でProfileとRate Profileを連動
- ダイヤルでPIDゲインを飛行中に微調整
- スイッチでRescue設定を切り替え

### 【注意】

着陸せずに調整できるため、チューニング作業が効率的になります。ただし、飛行中の大幅な変更は危険なので、少しづつ調整してください。